

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あすなろ教室			
○保護者評価実施期間	2024年11月5日 ~ 2024年12月21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2024年11月25日 ~ 2024年 12月 16日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月20日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの人数に対しての保育士の配置が多い。また、園舎の敷地も広いので丁寧な保育ができ子ども達もしっかりと体を動かすことができる。	・午前の活動時間は職員体制を多めに取り、子ども達に丁寧に関わるようしている。園舎が広いので、しっかりと体を動かせる保育内容を考えている。	・子どもの様子を確認しながら、職員の配置を考えていこうと思います。また、園庭やホールを有効に活用できるような保育が展開できるようにしていこうと思います。
2	・法人内に、発達相談員が常駐しているので、年に1度発達相談を行い進路選択や悩みなどにも適切な助言ができる環境にある。	・年に1度の発達相談だけでなく、学習会を開催し、発達相談員に講師として話をしてもらい、保護者の方が得たい情報を伝えられるようにしています。	・個別の面談などの機会を設け、その場にも発達相談員に同席してもらうなどを考えていきたいと思います。
3	・親子保育を週に1度行うことで、子どもの成長を喜ぶ機会を共有できる。また、悩みなども話し合える機会を多く持つことができる。	・週に1度の親子保育の日に遠足や行事を入れることで、普段の子どもの姿とは違う姿も見られるようにしています。その中で見せてくれる子どもの成長と一緒に喜べるようにしています。また、普段ゆっくり話せない保護者との時間を取り入れるように意識しながら話をしています。	・親子保育だからこそできる活動をたくさん取り入れていければと思っています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・園舎の老朽化やバリアフリー化が完全ではないところ。	・町の保育園の跡を利用しているので、完全にバリアフリーにすることが難しい。子ども達が分かりやすく利用しやすいように都度都度話し合って考えています。	・少しずつでもバリアフリー化を進めていければと思っています。
2	・途中入園児がいるので、経験に差が出てしまう。	・入園時期に差があるので、特に季節の行事などの参加に差が出てしまう。	・途中入園でも楽しめる活動を考え、様々な経験ができるように活動を展開していこうと思います。
3	・地域園や地域住民との交流ができていない。	・2歳児が多いので、地域園との交流の機会を作るのが難しい。地域住民の方とは、散歩中に挨拶をするなどを心がけています。	・地域の方を招く行事などを考えていければと思います。

		公表 保護者等からの事業所評価の集計結果						
事業所名	あすなろ教室	公表日 年 月 日						
		利用児童数 2024年12月1日 29人 回収数 20						
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	0	0	0		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	1	0	0		・必要があった場合は、バリアフリー化できるようにしていこうと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	0	0	0	・老朽化が気になる	・毎日掃除をしっかりするなどして、心地よく過ごせるようにしていきたいと思います。また、必要に応じて、リフォームなども考えたいと思います。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	0	11	1		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	0	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	10	1	9	0		・交流する機会がないので、そのような機会を設けられるように計画していければと思います。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	1	0	0		・入園時などに説明をしていますが、分かりやすく説明できるようにしていこうと思います。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	3	0	2		・分かりやすく丁寧に説明することを心がけていこうと思います。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	0	0	0		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	20	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20	0	0	0		

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	0	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	0	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	4	0	2		・各マニュアルは作成していますが、保護者の方に分かりやすいように説明したいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	2	0	1		・避難訓練をする機会を設けていますが、途中入園児もいるので、定期的な避難訓練を計画しようと思います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	1	0	0		・事故やけががあった時は、迅速に連絡して対応していこうと思います。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	0	0	1		・今後も楽しみにしてもらえるような保育プログラムを考えていこうと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		事業所における自己評価結果			
		公表日 年 月 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	園児10名に対し、午前中は4名、午後は3名の保育士を配置しています。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	6		構造的には分かりやすいですが、建物が古いので、入口扉などで手を詰めないようにするなど気をつけていこうと思います。また、必要に応じてバリアフリー化していきたいと思っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	3	園舎が古いので、毎日モップ掛けをするなどして、気持ちよく過ごせるよう心がけている。	園舎と園庭の間に遮るものがないので、すぐに砂が上がったりしてしまうので、都度都度掃除をするなどして気持ちよく過ごせるようにしていきたいと思います。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	体調不良の時などは、毎日使用していない部屋があるので、その部屋にいけるようにできる環境はあります。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	朝の打合せと保育終了後の反省は毎日行っています。また、必要に応じて職員会議を行っています。また年3回の総括も行っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	事業所評価を実施して、保護者の方の意見を確認しています。その中で、課題を把握して改善できるようにしています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	事業所評価を実施して、職員の意見を確認しています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	法人で研修委員会を設け、必要な研修を開催しています。また事業所で必要とする研修を行い、今年度はリズム研修を行い、調理員においては調理員研修を行う予定です。	今後も必要に応じて研修を計画していきたいと思います。
適切な	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	4	法人全体で、支援プログラムについて学習し、事業所で作成したものを検討する機会を設けています。	支援プログラムを作成していますが、まだ公表していません。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	家庭訪問や発達相談を行い、保護者の意見を聞いたりしながら個別支援計画を作成しています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	職員会議などで、検討する機会を設けています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	見直しの時期には、職員全員で話し合うようにしています。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	3		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		

支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	毎朝、保育士全体で一日の活動プログラムを話し合って決めています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	様々な散歩コースや季節の製作など、固定化されないようにしています。また、季節の行事や人形劇鑑賞・園外保育を行い本物体験ができる機会を設けています。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	子どもの様子を確認しながら支援するように心がけています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	毎朝、活動前に打合せを行い、一日のプログラム、役割を話し合って確認しています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	保育終了後には、職員間で子どもの様子や気づいた点、一日のプログラムの反省等を話し合い、確認しています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	毎日、保育日誌を付け、気づいた点や反省点などを記入し、翌日からの保育につなげられるようにしています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	半年に一度、個別支援計画の見直しをして、保護者の方に同意をいただいている。	
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	児童発達支援管理者や事業所の管理者が出席するようにしています。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	必要に応じて、関係機関と連携できるようにしています。	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	転園する時などは、体験に同行したり、保健師さんを介しながら申し送りを行い情報を共有するようにしています。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	8		2歳児の子どもしか在籍していないため。
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	3	月に1度、支援センターの職員と話をする機会を設けています。	
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	8		そのような機会を設けていく必要があると感じています。
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	送迎の際に、話をする機会を設けています。また、連絡帳を活用し、園での様子を記入したり、家庭の様子を書いてもらい把握できるようにしています。	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	交流会や学習会を定期的に開催しています。	
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	見学時や入園説明会時・入園時に説明を行っています。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	計画を書面で提示して説明し、保護者の同意をいただくようにしています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	交流会を行ったり、家庭訪問をして悩みなどを聞いて助言するようにしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	交流会を行い、保護者同士の交流の機会を設けています。	兄弟同士の交流の機会がないので、そのような機会を設けていきたいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	相談があった時は、関係機関と連絡を通り、対応できるようにしています。	今後も、相談・申し入れがあった場合はしっかりと対応していきたいと思います。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	毎月おたよりを発行して、必要に応じたお知らせを出すようにしています。	保護者の方に、周知できるようにしていこうと思います。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8		地域の方を招待する機会等が計画できていないので、計画していきたいと思います。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		掲示場所を保護者の方に丁寧に周知していきたいと思います。
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	親子保育の日に避難訓練を行っています。	途中入園の児もいるので、定期的に避難訓練を計画していきたいと思います。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	入園前に必要書類に記入してもらい把握するようにしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	3	入園前に必要書類に記入してもらい把握するようにしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	0	3		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	0	3		安全計画を作成しているが、保護者の方に周知できているか確認していきたいと思います。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1	ヒヤリハットがあった時は記入し、職員間で情報を共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	虐待チェックリストを年3回実施し、振り返りを行っています。また、研修の機会も確保しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	0	8	該当児なし。	